



3月も半ばを過ぎ、今年度も残りわずかとなりました。今週は温かい日が続き、校庭の桜のつぼみが日一日と膨らみを増しています。既に東京では桜の開花予想日を迎えています。本校の桜も間もなく開花するように感じます。そして来週早々には、本県の「まん延防止等重点措置」も解除となる見通しで、部活動も再開されることとなります。

本格的な春の到来とともに、コロナの冬も終わり、通常の学校生活に戻ることを切に願っております。

## ◇第2学年立志式

スキー宿泊学習中に実施する予定だった第2学年立志式が、3月14日(月)、体育館で実施されました。

式の第一部は2年生代表者による進行で、校長式辞、県知事メッセージ(代読)の後、代表生徒から、立志の誓いとして作文発表がありました。\*

第2部では、まず2年生が本校に入学してからこれまでの軌跡を記録写真により振り返るとともに、書家で詩人の相田みつを氏の「自分の番 いのちのバトン」の朗読を聞きました。そして最後に保護者等からの手紙を各自が読み、今の思いを手紙で表現する時間としました。

当初の予定から2か月遅れの立志式でしたが、先週の卒業式同様、感動ある式となりました。  
(※代表生徒の作文は学年通信で紹介します)



## ※立志とは

立志式は、武士の社会で行われていた「元服」の儀にちなんで、14歳になったことを祝う式です。元服は、奈良時代以降、成人を示すものとして行われる儀式のことで、通過儀礼の一つになっていました。つまり、この時代では、14歳になると大人の仲間入りをしたということになります。

現代では20歳に行われる成人式が大人の仲間入りをする儀式ですが、14歳という時期も、3年生への進級を控え、自分の進路や生き方について、これまでを振り返り、これからどのように生きるか、新たに誓いを立てることが必要な節目となる時期です。そのため「立志」は文字どおり「志を立てる」ことであることから、14歳のこの時期に立志式を実施する意義は大きいものです。

本校の立志式では、代表生徒から、立志の誓いとして、将来の夢や希望について発表がりましたが、2年生全員が立志の誓いを立て、その思いを大切に志を貫けるよう、努力を重ねてほしいと願っています。

### ◇第2学年校外学習（那須ハイランドパーク）

前日の立志式に続き、3月15日(火)に第2学年校外学習が実施されました。こちらは実施を断念したスキー宿泊学習の代替え行事として、「まん延防止等重点措置」期間であることを踏まえ、県内日帰りの校外学習として計画されたものです。

朝、生徒の実行委員による進行で、出発式を行った後、佐野からバスでおよそ2時間かけて、那須ハイランドパークに行きました。

到着してクラスごとに集合写真を撮った後、まずは班別によるロゲイニングを行いました。ロゲイニングとは、ナビゲーションスポーツの一つで、地図をもとに時間内にチェックポイントを回り、得点を集めるスポーツです。現地スタッフからの説明を聞いた後、活動を開始。優勝を目指して、それぞれ班員同士でよく相談をしながら、地図と方位磁石をたよりに一つでも多くのチェックポイントを見つけようと奮闘していました。

その後、班別自由行動になり、時間いっぱいまでアトラクションを楽しんでいました。最後にロゲイニングの結果発表と表彰を行い、那須ハイランドパークを後にしました。

一日を通して天候にも恵まれ、生徒達は級友との楽しく有意義な時間を過ごし、絆を強めることができました。

### ◇コンクリート塀の付け替え工事

校庭東側、東武鉄道線路沿いの道路に面したコンクリート塀の付け替え工事が始まりました。

この塀はブロック塀ではありませんが、大きな地震が発生した際は倒壊の心配があります。

今回は北側部分の付け替えを行う予定で、本日の作業で塀の撤去が概ね終了しました。この後、ネットフェンスを設置する予定です。



※コンクリート塀は既に撤去